

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 6 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県北九州市

住 所

小倉北区貴船町3番1号

大和ハウス工業株式会社 北九州支店

氏 名

電話番号 093-932-7874

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 北九州支店
事業場の所在地	福岡県北九州市小倉北区貴船町3番1号
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	売上高 28,627百万
③ 従業員数	211名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・各施工現場における廃棄物の分別の徹底 ・法例遵守及びマニフェストの適正管理の徹底 			
②計画	【目標】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
継続して取り組みます。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) プラ類、ガラス陶磁器くず、コンクリートくず、アスファルトくず、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、汚泥		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) プラ類、ガラス陶磁器くず、コンクリートくず、アスファルトくず、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、汚泥		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	ガラスくず等
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類		がれき類	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類		金属くず	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類		木くず	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ 6年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】 別紙参照			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等	
①現状	全処理委託量		t	t	
	優良認定処理業者への委託量		t	t	
	再生利用業者への委託量		t	t	
	認定熱回収業者への委託量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥	
	全処理委託量		t	t	
	優良認定処理業者への委託量		t	t	
	再生利用業者への委託量		t	t	
	認定熱回収業者への委託量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t	t	
	(これまでに実施した取組)				
			【目標】 別紙参照		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず等	
②計画	全処理委託量		t	t	
	優良認定処理業者への委託量		t	t	
	再生利用業者への委託量		t	t	
	認定熱回収業者への委託量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類		汚泥	
	全処理委託量		t	t	
	優良認定処理業者への委託量		t	t	
	再生利用業者への委託量		t	t	
	認定熱回収業者への委託量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t	t	
	(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】 別紙参照			
		産業廃棄物の種類			
		金属くず	紙くず		
①現状	全処理委託量	t	t		
	優良認定処理業者への委託量	t	t		
	再生利用業者への委託量	t	t		
	認定熱回収業者への委託量	t	t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t		
	産業廃棄物の種類		木くず	管理型混合廃棄物	
	全処理委託量	t	t		
	優良認定処理業者への委託量	t	t		
	再生利用業者への委託量	t	t		
	認定熱回収業者への委託量	t	t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t		
	(これまでに実施した取組)				
	②計画	【目標】 別紙参照			
		産業廃棄物の種類		金属くず	紙くず
全処理委託量		t	t		
優良認定処理業者への委託量		t	t		
再生利用業者への委託量		t	t		
認定熱回収業者への委託量		t	t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t	t		
産業廃棄物の種類		木くず	管理型混合廃棄物		
全処理委託量		t	t		
優良認定処理業者への委託量		t	t		
再生利用業者への委託量		t	t		
認定熱回収業者への委託量		t	t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t	t		
(今後実施する予定の取組)					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

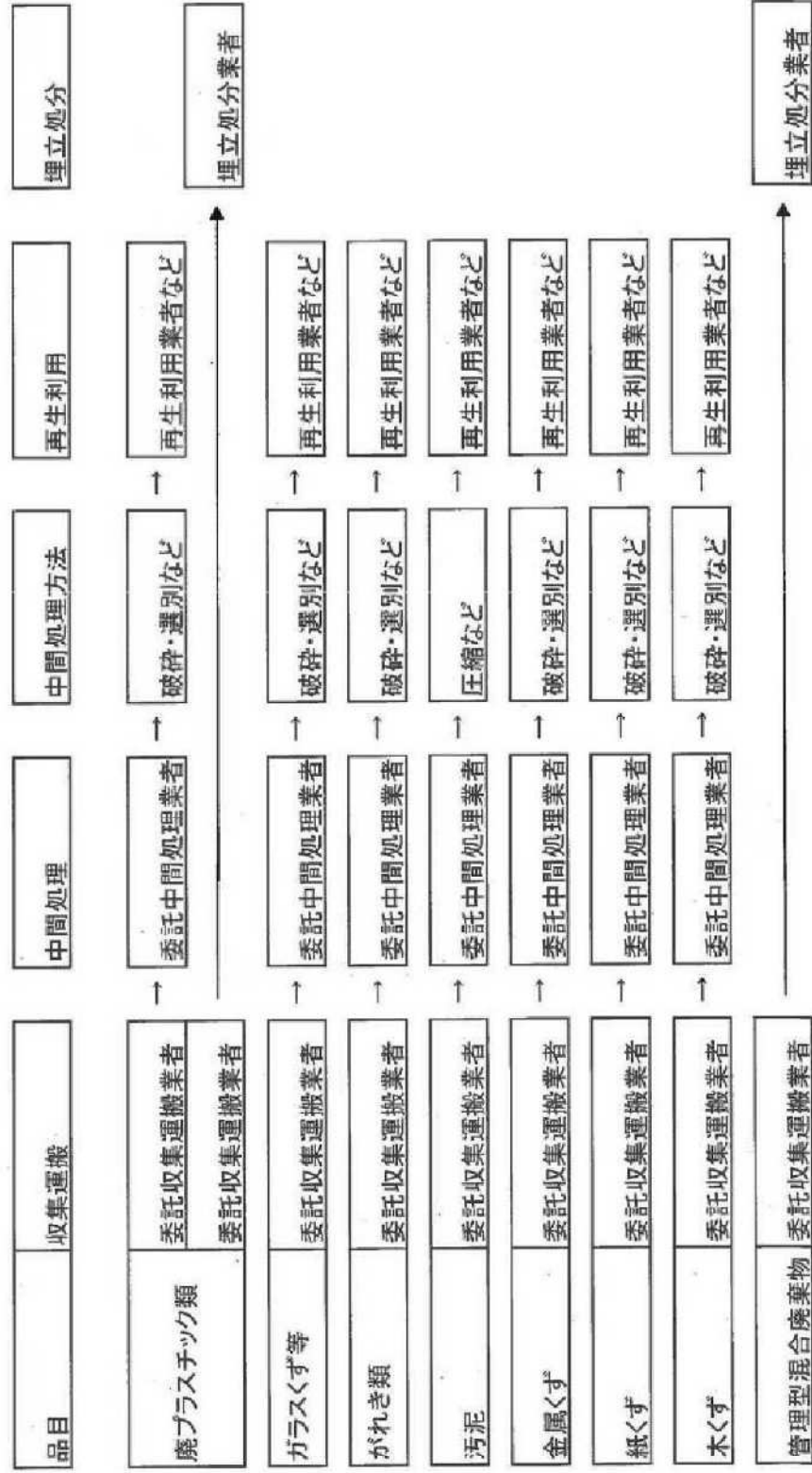
①現状	【前年度 (6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

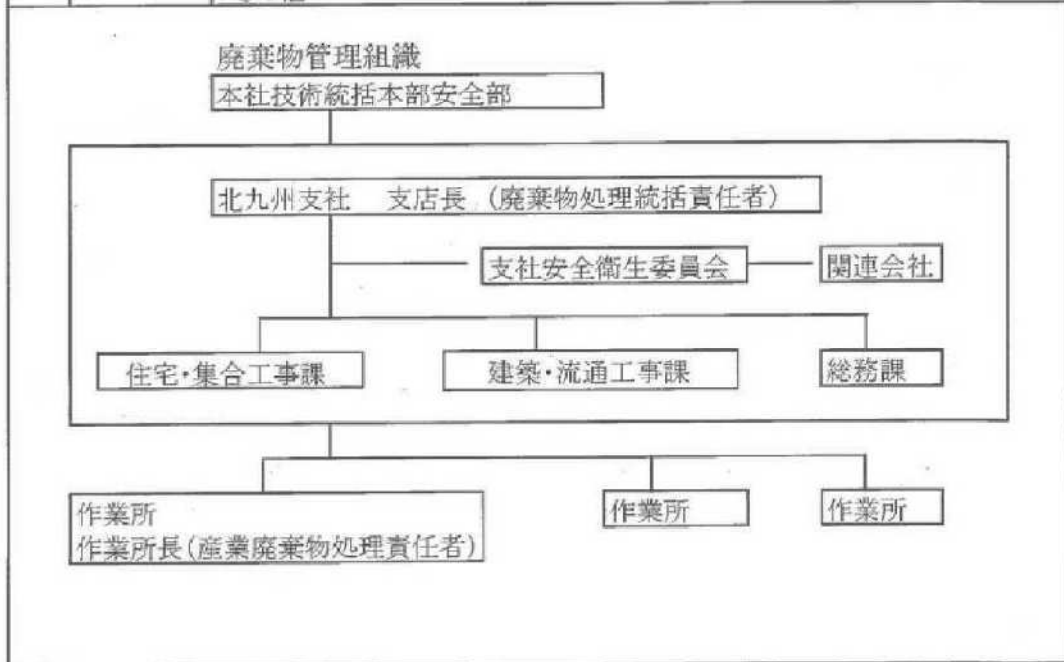
【処理工程】

(大和ハウス工業㈱北九州支店)



管理体制(廃棄物処理に関する管理組織等)

統括責任者	北九州支店 支店長
廃棄物担当	組織名:住宅事業部工事課、集合住宅事業部工事課・建築事業部建築工事課・建築工事部流通工事課 組織人数:44名
役	支社安全衛生委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理に関する検討 ・廃棄物の発生抑制、再生利用、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－支店長 ・委員－関連部署社員 ・事務局－本社環境技術部(安全部)
	廃棄物処理統括責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理方法の策定 ・支店の廃棄物管理規程の策定・改廃 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承諾
割	廃棄物管理担当者 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理計画の作成 ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ・委託契約の締結 ・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・社員、関連会社に対する教育・啓発 ・各作業所に対する情報提供、支援及び指導 ・その他



報告者
住所 北九州市小倉北区豊松町3番1号
氏名 大和ハウス工業株式会社北九州支店
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 093-832-7574

多量排出事業者処理計画作成要領に基づき、令和6年度の委託処理実績を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業㈱ 北九州支店				専売場の所在地		備考
	事業所排出量	委託処理量	優良認定処理業者への処理委託量	再利用業者への処理委託量	認定処理業者への処理委託量	認定処理業者以外の巡回回収を行う業者への処理委託量	
廃プラスチック類	133.64t	133.64t	12.24t	131.54t			埋立 2.1t
ガラスくず等	185.98t	185.98t	142.43t	185.98t			
がれき類	803.88t	803.88t	348.45t	803.88t			
汚泥	4664.40t	4664.40t	2527.20t	4664.40t			
金属くず	100.24t	100.24t	30.37t	100.24t			有価 30.37t含む
紙くず	73.84t	73.84t	0.00t	73.84t			有価 1.66t含む
木くず	113.11t	113.11t	0.00t	113.11t			
混合廃棄物/固体系混合廃棄物(管理型)	3.00t	3.00t	3.00t	0.00t			埋立 3t
合計	6078.05t	6078.09t	3083.72t	6072.99t	0.00t	0.00t	